

＜資料２＞プログラミング教育全体計画例

令和〇〇年度 〇〇小学校プログラミング教育 全体計画

＜児童の実態＞	＜学校の教育目標＞	＜地域の実態＞
＜保護者・地域の願い＞	＜プログラミング教育の目標＞ 論理的思考力を育むとともに、プログラムの働きやよさ、情報社会がコンピュータをはじめとする情報技術によって支えられていることなどに気付き、身近な問題の解決に主体的に取り組む態度やコンピュータ等を活用してよりよい社会を築いていこうとする態度などを育み、教科等で学ぶ知識及び技能等をより確実に身に付けることができるようにする。	＜教師の願い＞

＜育成を目指す資質・能力＞

観点	観点の説明	低学年	中学年	高学年
知識及び技能	身近な生活でコンピュータが活用されていることや、問題の解決には必要な手順があることに気付く。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> ・発達段階に応じた内容を示す。 ・コンピュータに意図した処理を行うよう指示することができる体験等を通じた、資質・能力の育成を目指す。 ・プログラミングを実施したからといって、それだけを取り立てて評価したり、評定をしたりするものではないため、評価規準のように取り扱わないよう留意する。 </div>		
思考力、判断力、表現力等	発達の段階に即して、「プログラミング的思考」を育成する。			
学びに向かう力、人間性等	発達の段階に即して、コンピュータの働きを、よりよい人生や社会づくりに生かそうとする態度を涵養する。			

＜関連する各教科等の力＞

国語科	社会科	算数科	理科	生活科	音楽科
<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> ・プログラミング的思考に関わる内容を示す 例) 国語科：筋道を立てて考える力 社会科：社会への関わり方を選択・判断したり、考えたことや選択・判断したことを適切に表現したりする力 算数科：事象を数理的に処理する技能 </div>					
図画					な き 間

＜道徳教育及び道徳科との関連＞

・情報モラルについての学習 ・

＜各団体等との連携＞

・ICT支援員 ・学習支援ボランティア ・

＜活用する情報機器等＞

・ICT端末 ・
